

スポーツがつなぐ海外との絆

長崎県



はじめに

国体・大会の開催



長崎 **がんばらんば** 国体

2014年10月12日～22日



長崎 **がんばらんば** 大会

2014年11月1日～3日

参加者延べ95万人

経済波及効果678億円

国体・大会のレガシーを未来へ

国体・大会のレガシー

スポーツ施設の充実



県立総合運動公園陸上競技場を始め、県内に様々なスポーツ施設が整備されました。

大会運営のノウハウ



国体・大会を経験することで大規模なスポーツ大会運営のノウハウを獲得することができました。

ボランティアの養成

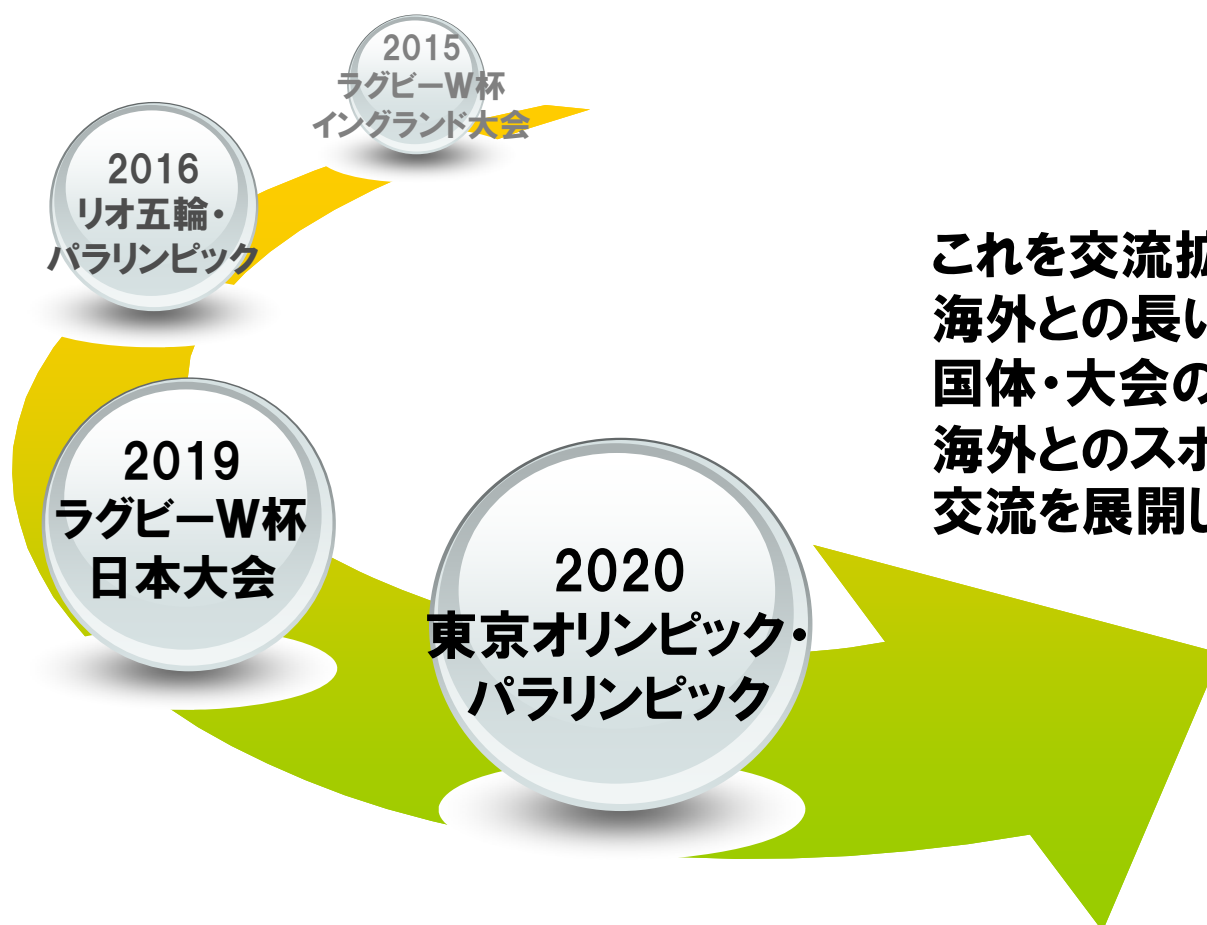


国体・大会合わせて延べ1.2万人の県民がボランティアとして運営に携わりました。

国体・大会のレガシーを今後のスポーツ振興につなげることが必要

2019～20は新たな交流のチャンス

今後、我が国においては、2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピック・パラリンピックと、世界的なスポーツイベントが開催されます。



これを交流拡大のチャンスと捉え、
海外との長い交流の歴史や
国体・大会のレガシーを活用し、
海外とのスポーツツーリズムやスポーツ
交流を展開します。

スポーツキャンプ地の拠点を目指して



これからの取組

- ➔ 上記の取組に加え、東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップの開催を見据えて、海外チームや選手のキャンプ地誘致を推進
- ➔ キャンプ地誘致推進を強力に進めるエンジンとして、スポーツコミッションを新たに設置

⇒スポーツキャンプ地の一大拠点を目指します

これまでの取組

➔ 国内外のトップレベルのチームの誘致

(国内)

- バスケットボール女子日本代表
- アジア競技大会野球日本代表
- モンテディオ山形(サッカーJ1) など

(韓国)

- ハンファ・イーグルス(プロ野球)
- 韓国体育大学(ホッケー)
- 金海市役所(ホッケー)



今後のスポーツ交流に向けて

本県における民間のスポーツ交流

VREDE CUP

サッカーを通じた青少年健全育成と国際交流を目的に日中韓のU12の8チームが参加。VREDEはオランダ語で平和の意。



太極拳交流

2012年～発祥の地である中国湖北省の武当山と本県の団体との相互訪問を県が支援。今年度から民間主体の交流に移行。



⇒民間レベルでの息の長い相互交流に発展するようなスキームの検討が必要

おわりに



スポーツには国境や言葉を越えて人々をつなぐ力があります。

スポーツを通じて日韓の絆を深めていきましょう！



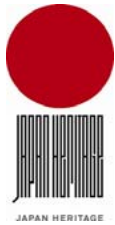
日本遺産

「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」

長崎県



日本遺産 (Japan Heritage) について



歴史の声に耳を傾けると その土地に物語が生まれる。文化財は保存から活用へ！
日本遺産、はじまります。

*放送作家・脚本家 小山薫堂氏（日本遺産審査委員）によるキャッチコピー

日本遺産とは

地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを国(文化庁)が日本遺産(Japan Heritage)に認定。



文化財版クールジャパン戦略

歴史的魅力に溢れた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、日本の文化・伝統を国内外に積極的かつ戦略的・効果的に発信する。

地域のブランド化・アイデンティティの再確認を促進し、地域の活性化を図る。

国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～

ストーリーの概要

日本本土と大陸の中間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらをつなぐ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点であった。

特に朝鮮との関わりは深く、壱岐は弥生時代、海上交易で王都を築き、対馬は中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた。

その後、中継地の役割は希薄になったが、古代住居跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が窺える。

国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域である。



主な構成文化財



万松院の三具足
【対馬市】



原の辻遺跡
【壱岐市】



三井楽(みみらくのしま)
【五島市】



遣唐使史跡・御船様
【新上五島町】

国境の島 対馬 ～日韓交流の歴史を活かしたまちづくり～

韓国・朝鮮半島と
ゆかりのある文化財



金石城跡



対馬の亀卜習俗



朝鮮国信使絵巻



朝鮮通信使行列の再現



対馬国境花火大会



今後の取組について



ふれあい処つしまの開設



比田勝港国際ターミナルの整備



ご清聴ありがとうございました

